



D-Control™

付録

Version 7.4-7.4cs1



## 法的告知

© 2007 本書の著作権は Avid Technology, Inc. の事業部 Digidesign (以下「Digidesign」) に帰属します。著作権法に基づき、Digidesign の書面による同意なくして、本書の一部または全部を複製することはできません。

003, 003 Rack, 96 I/O, 96i I/O, 192 Digital I/O, 192 I/O, 888|24 I/O, 882|20 I/O, 1622 I/O, 24-Bit ADAT Bridge I/O, AudioSuite, Avid, Avid DNA, Avid Mojo, Avid Unity, Avid Unity ISIS, Avid Unity MediaNetwork, Avid Xpress, AVoption, AVoption|V10, Beat Detective, Bruno, C|24, Command|8, Control|24, D-Command, D-Control, D-Fi, D-fx, D-Show, DAE, Digi 002, Digi 002 Rack, DigiBase, DigiDelivery, Digidesign, Digidesign Audio Engine, Digidesign Intelligent Noise Reduction, Digidesign TDM Bus, DigiDrive, DigiRack, DigiTest, DigiTranslator, DINR, DV Toolkit, EditPack, Impact, Interplay, M-Audio, MachineControl, Maxim, Mbox, MediaComposer, MIDI I/O, MIX, MultiShell, OMF, OMF Interchange, PRE, ProControl, Pro Tools M-Powered, Pro Tools, Pro Tools|HD, Pro Tools LE, QuickPunch, Reel Tape, Reso, Reverb One, ReVibe, RTAS, Smack!, SoundReplacer, Sound Designer II, Strike, Structure, SYNC HD, SYNC I/O, Synchronic, TL Space, Velvet, and X-Form. 以上は Avid Technology, Inc. の商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの所有者に帰属します。

製品の機能、仕様、システム要件、供給は予告なく変更することがあります。

PN 9329-58571-01 REV A 11/07

本書に関するご意見・ご提案がありましたら以下のアドレスに E メールをお送りください。techpubs@digidesign.com

# 目次

第 1 章 Pro Tools HD 7.4 の新機能.....	1
プレイリスト・スイッチ・コマンド.....	1
モニター・アウトプット・リンク.....	1
第 2 章 Pro Tools HD 7.4cs1 の新機能.....	3
オートメーション書き込みスイッチ.....	3
ソフトキー・セクション.....	5
デュアル・トランスポート・モード.....	5
LED テスト・モード.....	6
第 3 章 D-Control マルチ・モード (Mac のみ).....	7
D-Control のマルチ・モードを設定する.....	7
D-Control のマルチ・モードを使う.....	8



# 第 1 章 : Pro Tools HD 7.4 の新機能

---

## プレイリスト・スイッチ・コマンド

ProTools 7.4 では、D-Control、D-Command で、ソフトキー・セクションからフォーカス・トラック上の利用可能なプレイリストを順に切り替えることができます。

ソフト・キーの管理セクションの [Playlist] スイッチに新しいコマンドが 2 つ追加されました。編集ウィンドウで現在選択されているトラックのプレイリストを切り替える [Show Previous Playlist] と [Show Next Playlist] です。

### プレイリスト・スイッチ

[Playlist] スイッチを押すと、以下のコマンドが表示されます。

- ・ New: 新規プレイリスト
- ・ Duplicate: プレイリスト複製
- ・ Delete Audio: 未使用のオーディオ・プレイリストを削除
- ・ Delete MIDI: 未使用の MIDI プレイリストを削除
- ・ Prev Plylst: 前のプレイリストを表示
- ・ Next Plylst: 次のプレイリストを表示

トラックのプレイリストを順に表示するには:

- 1 トラックを操作の対象にします。
- 2 管理セクションの [Playlist] スイッチを押します。
- 3 ソフトキー・セクションで以下のいずれかを行います。
  - ・ [Prevs Plylst] と表示されたソフトキーを押し、トラックのプレイリスト・メニューの前のプレイリストを選択します。
  - ・ [Next Plylst] と表示されたソフトキーを押し、トラックのプレイリスト・メニューの次のプレイリストを選択します。

---

## モニター・アウトプット・リンク

(D-Control のみ)

D-Control のコントロール・ルーム・モニター・セクションでは、異なるスピーカー・システムのアウトプット・ゲインやスイッチを操作するときに [Main]、[Alt]、[Mini] の相対的なレベルが維持されるようアウトプット・レベルのコントロールをリンクできます。

アウトプット・レベルのコントロールをリンクすると、すべてのアウトプット・トリムの設定および [Main]、[Alt]、[Mini] の現在のアウトプット・レベルのコントロールの差が維持されます。

D-Control のアウトプット・レベルのコントロールをリンクするには:

1 以下のいずれかを行います。

- ・ [Main]、[Alt]、[Mini] のレベルを別々に設定します。このときの差がコントロールをリンクしたときに維持されます。

または

- ・ [Main]、[Alt]、[Mini] のレベルを一番下 (-INF) まで下げます。こうすると、コントロールをリンクしたときに差が生じません。

2 モニター・アウトプット・モード・コントロールの [Setup] スイッチを押さえ、メイン・アウトプットのオン / オフ・スイッチを押します。モニター・セクションに [Output Lk On] が表示され、リンクがアクティブであることを示します。


D-Control のアウトプット・レベルのコントロールのリンクを解除するには:

- ・ モニター・アウトプット・モード・コントロールの [Setup] スイッチを押さえ、メイン・アウトプットのオン / オフ・スイッチを押します。モニター・セクションに [Output Lk Off] が表示されます。



## 第 2 章 : Pro Tools HD 7.4cs1 の新機能

Pro Tools HD 7.4cs1 には、D-Control ワークサーフェス用コントローラー・パーソナリティ・ファイルとファームウェアのアップデートが含まれています。

 *Pro Tools HD 7.4cs1 のインストールとこれに伴う D-Control のファームウェアのアップデートの方法については、'Pro Tools HD 7.4cs1 Read Me.pdf' をお読みください。*

このパーソナリティとファームウェアのアップデートには以下の新機能が含まれています。

- ・ オートメーション書き込みスイッチの変更
- ・ ソフト・キー・セクションの変更
- ・ デュアル・トランスポート・モード
- ・ LED テスト・モードの色の変更 (D-Control ES のみ)
- ・ D-Control マルチ・モード (Mac のみ)

### オートメーション書き込みスイッチ


(すべての D-Control システム)

オートメーション書き込みスイッチの新しいレイアウト


オートメーション書き込みスイッチは、Pro Tools のコマンドである手動の [Write to Start/End/All/Punch/Next] コマンドと、自動の [Write to Start/End/All/Punch/Next on Stop] コマンドを実行します。

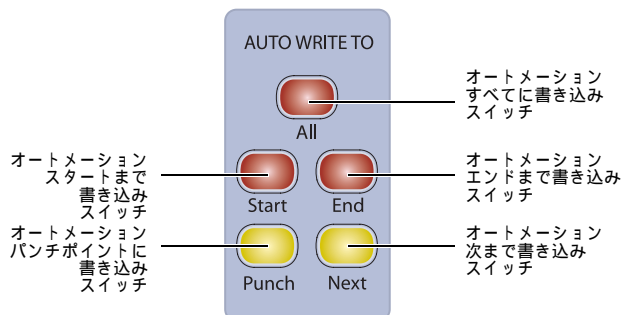
このスイッチの新しいマッピングには、Pro Tools オートメーション・ウィンドウにあるすべての手動書き込みコマンドと停止時書き込みコマンドが含まれています。

[Write To Start/End/All/Punch/Next] の各コマンドは、D-Control のソフトキー・セクションから呼び出すこともできます。

 *[Write/Trim/Glide to Current] コマンドと [Write/Trim/Glide to All Enabled] コマンドは今まで通り D-Control のソフト・キーからも実行できます。*

2007 年 10 月 1 日より前に D-Control を購入している場合は、メイン・ユニットの 2 つの [Auto Write] セクション (左右のチャンネル・ストリップ・マスター・セクションにある) をアップデートする Lexan オーバーレイが必要です。Lexan オーバーレイの入手方法については Digidesign のカスタマー・サービスにお尋ねください。Digidesign の各地のカスタマー・サービスの電話番号は Digidesign のウェブサイト ([www.digidesign.com](http://www.digidesign.com)) に掲載しています。

 *以下のスイッチの LED の色は D-Control ES のものではありません。*



オートメーション書き込みスイッチ

#### [All] スイッチ

[All] スイッチは、書き込み可能になっているパラメータの現在の値を選択範囲またはトラック全体に書き込みます。

手動でオートメーションを 1 つのトラックまたは選択範囲全体へ書き込むには :

- ・ プレイバック中に [All] スイッチを押します。

停止時にオートメーションを 1 つのトラックまたは選択範囲全体へ書き込むには :

- ・ Start キー (Windows) または Control キー (Mac) を押したまま、[All] スイッチを押します。

各オートメーション・パスの終了後に [Write to All on Stop] をオンにしておくには :

- ・ Alt+Start キー (Windows) または Option+Control キー (Mac) を押したまま、[All] スイッチを押します。

自動の [Write to All on Stop] を解除するには :

- ・ 点滅している [All] スイッチを押します。

## [Start] スイッチ

[Start] スイッチは、書き込み可能になっているパラメータの現在の値を選択範囲またはトラックのスタートへ書き込みます。

手動でオートメーションを1つのトラックまたは選択範囲のスタートへ書き込むには：

- ・ プレイバック中に [Start] スイッチを押します。

停止時にオートメーションを1つのトラックまたは選択範囲のスタートへ書き込むには：

- ・ Start キー (Windows) または Control キー (Mac) を押したまま、[Start] スイッチを押します。

各オートメーション・パスの終了後に [Write to Start on Stop] をオンしておくには：

- ・ Alt+Start キー (Windows) または Option+Control キー (Mac) を押したまま、[Start] スイッチを押します。

[Write to Start on Stop] を解除するには：

- ・ 点滅している [Start] スイッチを押します。

## [End] スイッチ

[End] スイッチは、書き込み可能になっているパラメータの現在の値を、選択範囲またはトラックのエンドへ書き込みます。

手動でオートメーションを1つのトラックまたは選択範囲のエンドへ書き込むには：

- ・ プレイバック中に [End] スイッチを押します。

停止時にオートメーションを1つのトラックまたは選択範囲のエンドへ書き込むには：

- ・ Start キー (Windows) または Control キー (Mac) を押したまま、[End] スイッチを押します。

各オートメーション・パスの終了後に [Write to End on Stop] をオンしておくには：

- ・ Alt+Start キー (Windows) または Option+Control キー (Mac) を押したまま、[End] スイッチを押します。

[Write to End on Stop] を解除するには：

- ・ 点滅している [End] スイッチを押します。

## [Punch] スイッチ

[Punch] スイッチは、書き込み可能になっているパラメータの現在の値をパンチ・ポイント (トラック内で現在のオートメーション・パスが始まる位置) まで書き込みます。

手動でオートメーションをパンチ・ポイントまで書き込むには：

- ・ プレイバック中に [Punch] スイッチを押します。

停止時にオートメーションをパンチ・ポイントまで書き込むには：

- ・ Start キー (Windows) または Control キー (Mac) を押したまま、[Punch] スイッチを押します。

各オートメーション・パスの終了後に [Write to Punch on Stop] をオンしておくには：

- ・ Alt+Start キー (Windows) または Option+Control キー (Mac) を押したまま、[Punch] スイッチを押します。

[Write to Punch on Stop] を解除するには：

- ・ 点滅している [Punch] スイッチを押します。

## [Next] スイッチ

[Next] スイッチは、書き込み可能になっているパラメータの現在の値を、次のオートメーション・ブレイクポイントまで書き込みます。

他の書き込みコマンドとは異なり、[Write to Next on Stop] コマンドは各オートメーション・パスの終了後は常にオンになります。必要であれば解除しなければなりません。

手動でオートメーションを次のブレイクポイントまで書き込むには：

- ・ プレイバック中に [Next] スイッチを押します。

各オートメーション・パスの終了後に [Write to Next on Stop] をオンしておくには：

- ・ Start キー (Windows) または Control キー (Mac) を押したまま、[Next] スイッチを押します。

自動の [Write to Next on Stop] を解除するには：

- ・ 点滅している [Next] スイッチを押します。

---

## ソフトキー・セクション

(すべての D-Control システム)

D-Control のソフト・キー・セクションでは、D-Control 上の [Auto Write To] スイッチの新しい配置に合わせて、[Actions] スイッチと [Modes] スイッチで呼び出すソフト・キーの既存のコマンドのレイアウトが変わりました。

### [Actions] スイッチの新しいレイアウト

オートメーション・セクションの [Actions] スイッチの 2 ページ目にオートメーション書き込みコマンドが以下の順で表示されます。

Wrt To All (Write to All) オートメーション・パスを再生しながら、選択範囲またはトラックの全体に現在のオートメーション値を書き込みます。

Snap Back 書き込みまたはラッチ・モードになっているすべてのトラックについて現在のオートメーション・パスを終了させ、オートメーション値を瞬時に以前の値に戻します。再生中は、[AutoMatch] の設定にかかわらず、オートメーション書き込みを停止します。

Wrt To Start (Write To Start) オートメーション・パスを再生しながら、挿入位置から選択範囲またはトラックの最初まで現在のオートメーション値を書き込みます。

Wrt To End (Write to End) オートメーション・パスを再生しながら、挿入位置から選択範囲またはトラックの最後まで現在のオートメーション値を書き込みます。

Wrt To Punch (Write To Punch Point) オートメーションの書き込みを開始した位置に、現在のオートメーション値を書き込みます。

Wrt To Next (Write to Next Breakpoint) オートメーション・パスを再生しながら、現在のオートメーション値を挿入位置から次のブレークポイントまで書き込みます。

### [Modes] スイッチの新しいレイアウト

オートメーション・セクションの [Modes] スイッチに停止時オートメーション書き込みコマンドが以下の順で表示されます。

AWrtTo All (Auto Write to All on Stop) オートメーション・パスの後にトランスポートが停止した際に、選択範囲またはトラックの全体に現在のオートメーション値を書き込みます。

AWrtTo Start (Auto Write to Start on Stop) オートメーション・パスの後にトランスポートが停止した際に、挿入位置から選択範囲またはトラックの最初まで現在のオートメーション値を書き込みます。

AWrtTo End (Auto Write to End on Stop) オートメーション・パスの後にトランスポートが停止した際に、挿入位置から選択範囲またはトラックの最後まで現在のオートメーション値を書き込みます。

AWrtTo Punch (Auto Write to Punch Point on Stop) オートメーションの書き込みを開始した位置に、現在のオートメーション値を書き込みます。

AWrtTo Next (Auto Write to Next Breakpoint on Stop) オートメーション・パスの後にトランスポートが停止した際に、現在のオートメーション値を挿入位置から次のブレークポイントまで書き込みます。

---

## デュアル・トランスポート・モード

(9-ピンまたは MMC 機器と Digidesign MachineControl)

Digidesign MachineControl があれば、D-Control を「デュアル・トランスポート・モード」にして、2 つ目のトランスポート・コントロール ([Machine Transport] と表記されているセクション) が使えます。

デュアル・トランスポート・モードは、MachineControl を使ってトランスポート・コントロールの上のセットを 9-ピン機器または MMC 機器へアサインします。

- ・デュアル・トランスポート・モードでは、トランスポート・マスターの [Transport=Pro Tools]、[Transport = Machine]、[Transport=MMC]、[Transport=Remote] へ切り替えは D-Control のトランスポート・スイッチを使って直接行えます。

- ・シングル・トランスポート・モードでは、トランスポート・マスターの [Transport=Pro Tools]、[Transport = Machine]、[Transport=MMC]、[Transport=Remote] へ切り替えはトランスポート・モード・コントロールの [Machine Online] スイッチを使って行います。

### D-Control のトランスポート・モードの新しい初期設定

D-Control の新しい初期設定は、シングル・トランスポート・モードとデュアル・トランスポート・モードを切り替えます。コントロール初期設定の [Operation] の 5 ページに以下の初期設定が追加されました。

Transpt (D-Control のトランスポート・モード) D-Control のトランスポート・モードをデュアルまたはシングルに切り替えます。デュアル・トランスポート・モードは、[Machine Transport] と表記された D-Control の 2 つ目のトランスポート・コントロールが使用できるようになります。シングル・トランスポート・モードでは、[Pro Tools Transport] と表記されたトランスポート・コントロールが使用できます。

D-Control のシングル・トランスポート・モードとデュアル・トランスポート・モードを切り替えるには：

- 1 ソフトキー・セクションの [Operation] スイッチを何度か押し、[Transpt] を表示します。
- 2 [Transpt] に対応するソフト・キーを押して [Dual] と [Single] を切り替えます。
- 3 Control (Windows) または Command (Mac) を押さえ、[Operation] スイッチを押して解除します。

## デュアル・トランスポート・モードでトランスポート・マスターを選択する

デュアル・トランスポート・モードでは、トランスポート・コントロールのいずれかのセットが使用できます。トランスポート・スイッチの点灯している方が現在のトランスポート・マスターです。

- [Pro Tools Transport] のスイッチが点灯していれば [Transport = Pro Tools] です。
- [Machine Transport] のスイッチが点灯していればトランスポート・マスターは以下のいずれかです。
  - Transport = Machine
  - Transport=MMC
  - Transport=Remote

デュアル・トランスポート・モードでトランスポート・マスターを選択するには：

- トランスポート・モード・コントロールの [Machine Online] スイッチを押します。

または

- 以下のいずれかを行います。
  - [Transport = Pro Tools] のときは、[Machine Transport] セクションの点灯していないスイッチ（巻戻し、早送り、停止、再生、レコード）を押します。
  - [Transport = Machine/MMC,/Remote] のときは、[Pro Tools Transport] セクションの点灯していないスイッチ（巻戻し、早送り、停止、再生、レコード）を押します。

トランスポート・マスターが変わります。このときトランスポート・コマンドは送られません。もう一度スイッチを押すとトランスポート・コマンドが送られます。

## シングル・トランスポート・モードでトランスポート・マスターを選択する

シングル・トランスポート・モードでは [Pro Tools Transport] のコントロールだけが使用でき、現在選択しているトランスポート・マスターになります。

シングル・トランスポート・モードでトランスポート・マスターを選択するには：

- トランスポート・モード・コントロールの [Machine Online] スイッチを押します。

## トランスポート・マスターを順に選択する

D-Control でのトランスポート・マスターの切り替え (Pro Tools、Machine、MMC、Remote) には、シングル・トランスポート・モードとデュアル・トランスポート・モード共に [Machine Online] スイッチを使います。

トランスポート・マスターを順に選択するには：

- Start (Win) または Control (Mac) を押さえ、トランスポート・モード・コントロールの [Machine Online] スイッチを繰り返して押します。

---

## LED テスト・モード

(D-Control ES のみ)

D-Control のユーティリティー・モードの LED テストは、D-Control ES の新しい配色に従って D-Control のスイッチの LED を点灯させます。

## 第3章：D-Control マルチ・モード (Mac のみ)

Pro Tools HD 7.4cs1 には D-Control を「マルチ・モード」にする機能が追加され、1 台の D-Control コンソールでネットワーク上の Pro Tools|HD システムを 4 つまで操作できるようになりました。マルチ・モードでは、D-Control コンソールのスイッチを 1 つ押すだけで、操作する Pro Tools システムを切り替えることができます。

### マルチ・モードの互換性

D-Control のマルチ・モードは、Pro Tools 7.4 用のシステムの一部として機能します。詳しくは Digidesign のウェブサイト ([www.digidesign.com/compatibility](http://www.digidesign.com/compatibility)) の互換性のページをご覧ください。

**▲** Windows 用 Pro Tools システムは D-Control のマルチ・モードには対応していません。

D-Control のマルチ・モードは、現在の Comm ボードを持つメイン・ユニットとフェーダー・ユニットで構成された D-Control コンソールでのみ使用できます。

D-Control 本体の Comm ボードのアップデート方法については Digidesign のカスタマー・サービスにお尋ねください。Digidesign の各地のカスタマー・サービスの電話番号は Digidesign のウェブサイト ([www.digidesign.com](http://www.digidesign.com)) に掲載しています。

D-Control ユニットの Comm ボードのバージョンを調べるには：

- 1 Pro Tools が起動している場合は、Pro Tools を終了します。
- 2 D-Control ユニットの電源を切ります。
- 3 フォーカス・チャンネル・ストリップ (メイン・ユニット) または一番左のチャンネル・ストリップ (フェーダー・モジュール) のスイッチ [Select]、[Solo]、[Mute] を押さえて D-Control ユニットの電源を入れます。これによって特別な「ブートローダー」モードでユニットが起動します。
- 4 ユニットに電源が入ったら、以下のいずれかの方法でユニットをユーティリティ・モードにします。
  - ・メイン・ユニットのセッション管理セクションの [Utility] スイッチを押します。
  - ・フェーダー・モジュール左下にある修飾キーを Shift + Alt/Command + Win/Option の順に押さえます。
- 5 [System] と表示されているソフト・キー (メイン・ユニット) またはエンコーダ・セレクト・スイッチ (フェーダー・モジュール) を押します。
- 6 [FW ver] と表示されているソフト・キー (メイン・ユニット) またはエンコーダ・セレクト・スイッチ (フェーダー・モジュール) を押します。

7 そのユニットのチャンネル・ディスプレイに Comm ボードのファームウェアのバージョンが表示されます。

- ・ Comm ボードのファームウェアのバージョンが [b7.2.0.92] であれば、Comm ボードは現在のものであり、マルチ・モードに対応しています。
- ・ Comm ボードのファームウェアのバージョンが [b2.59] であれば、Comm ボードは現在のものでなく、マルチ・モードには対応していません。

8 ユーティリティ・モードを解除し、D-Control ユニットの電源を入れ直してノーマル・モードで起動します。

---

## D-Control のマルチ・モードを設定する

### D-Control のファームウェアをアップデートする

D-Control のマルチ・モードは、D-Control のすべてのユニット (メイン・ユニットと各フェーダー・モジュール) のファームウェアを Pro Tools HD 7.4cs1 でアップデートしなければ使えません。

Pro Tools HD 7.4cs1 に含まれている D-Control 用ファームウェア・アップデートを始めるには：

- 1 Pro Tools HD 7.4cs1 を起動します。
- 2 [設定] (Setup) > [ペリフェラル] (Peripherals) を選択し、[Ethernet コントローラー] (Ethernet Controllers) をクリックします。
- 3 D-Control のメイン・ユニットとフェーダー・モジュールを選択します (まだの場合)。
- 4 [OK] をクリックして、[ペリフェラル] ダイアログを閉じます。
- 5 画面の指示に従って D-Control のファームウェアをアップデートします。

**▲** D-Control Surround Panner を持っている場合は、パナー用のファームウェアをアップデートするようメッセージが表示されます。このファームウェアのアップデートは 11 分程度かかります。Surround Panner のアップデートは後で行っても構いません。Surround Panner のファームウェアをアップデートしなくても、Pro Tools HD 7.4cs1 の機能は使えます。

## D-Control ユニットをマルチ・モードにする

1つのD-Control コンソールを複数のPro Tools|HDシステムから選択するには、まずD-Controlのメイン・ユニットとフェーダー・モジュールをマルチ・モードにする必要があります。

D-Control ユニットのマルチ・モードのオンとオフを切り替えるには：

- 1 ユニットがいずれかのシステムから選択されている場合は、以下のいずれかを行います。
  - ・ Pro Tools を終了します。または
  - ・ Pro Tools の [ペリフェラル] ダイアログでそのユニットの選択を解除します。

- 2 フォーカス・チャンネル・ストリップ (メイン・ユニット) または一番左のチャンネル・ストリップ (フェーダー・モジュール) の [Solo] スイッチを約3秒押さえます。

マルチ・モードになると、ソフト・キー (メイン・ユニット) やチャンネル・ディスプレイ (フェーダー・モジュール) に [D-Control Multi-Mode] が表示されます。

### マルチ・モードのD-Control ユニットを選択する

D-Control ユニットがマルチ・モードになると、名前に1~4の数字がついた複数のD-Control ユニットが [ペリフェラル] ダイアログに表示されます。これらのユニットをネットワーク上の異なるPro Toolsシステムから選択することになります。

マルチ・モードのD-Control ユニットを選択するには：

- 1 すべてのPro ToolsシステムがPro Tools 7.4cs1以降で起動していることを確認してください。

- 2 1番目のPro Toolsシステムで [設定] (Setups) > [ペリフェラル] (Peripherals) を選択し、[Ethernet コントローラー] (Ethernet Controlllers) をクリックします。

- 3 [Ethernet コントローラー] (Ethernet Controlllers) ページで [有効化] (Enable) を選択します。Pro Tools がイーサネット接続を走査し、マルチ・モードになっているD-Control ユニットを見つけてます。

- 4 ユニットが左から右へ並ぶように添字 [1] のメイン・ユニットとフェーダー・モジュールを選択します。

- 5 [OK] をクリックして、[ペリフェラル] ダイアログを閉じます。

- 6 2番目のPro Toolsシステムで、上記の手順を繰り返し、1番目のPro Toolsシステムと同じくユニットが左から右へ並ぶように添字 [2] のメイン・ユニットとフェーダー・モジュールを選択します。

- 7 他にもPro Toolsシステムがあれば、ユニットが左から右へ同じ順序で並ぶように添字 [3]、[4] のD-Control ユニットを選択します。

各Pro ToolsシステムでD-Control ユニットを選択するに従って、トランスポート・コントロールの [Online] セクションにあるマシン・オンライン・スイッチ (Mach 1 ~ Mach 4) が点滅してそのシステムが操作できることを示します。

**▲** バージョン 7.4cs1 より前の Pro Tools システムで D-Control ユニットを選択すると、ファームウェアをアップデートするようメッセージが表示される場合があります。アップデート中のコンフリクトを避けるため、D-Control ユニットをマルチ・モードにしたままファームウェアをアップデートしないでください。

D-Control のファームウェアのアップデートは、ファームウェアのバージョンが分かっているシステムから ノーマル・モードで行ってください。

## D-Control のマルチ・モードを使う

複数のPro Toolsシステムが使用できるときは、トランスポート・コントロールの [Online] セクションにあるマシン・オンライン・スイッチ (Mach 1 ~ Mach 4) を使って、それぞれのトランスポートの同期の状態を確認し、切り替えることができます。

### Pro Tools システムの状態

Pro Tools のトランスポート・マスターが [Transport=Machine] または [Transport=MMC] に設定されているときは、マシン・オンライン・スイッチ (Mach 1 ~ Mach 4) が以下のとおり各Pro Toolsシステムの状態を示します。

Pro Tools システムの状態 (Transport=Machine または MMC)

マシン・スイッチ	状態
オフ	Pro Tools システムなし
点滅 (ゆっくり)	D-Control 上にアクティブな Pro Tools システム
点滅 (速く)	Pro Tools システムあり、停止中またはタイムコードと非同期
オン (点灯)	Pro Tools システムあり、タイムコードへ同期中

Pro Tools のトランスポート・マスターが [Transport=Remote] に設定されているときは、マシン・オンライン・スイッチ (Mach 1 ~ Mach 4) は以下の状態のみ示します。

Pro Tools システムの状態 (Transport=Remot)

マシン・スイッチ	状態
オフ	Pro Tools システムなし
点滅 (ゆっくり)	D-Control 上にアクティブな Pro Tools システム
オン (点灯)	Pro Tools システムあり、オンライン

**▲** [Transport=Remote] のときは、Pro Tools のオンライン・スイッチとトランスポート・コントロール (巻戻し、早送り、停止、再生、レコード) は点滅し、Pro Tools のトランスポートの正確な状態は示しません。

### Pro Tools システムのコントロールを切り替える

選択できるPro Toolsシステムがあれば、そのマシン・オンライン・スイッチ (Mach 1 ~ Mach 4) を押すと切り替えられます。





[www.digidesign.com](http://www.digidesign.com)

**DIGIDESIGN**

〒107-0052  
東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館ビル 4F  
アビッドテクノロジー株式会社内

**製品情報**

Tel: 03.3505.7963  
Fax: 03.3505.3417

**テクニカルサポート**

Tel: 03.3505.4762  
(HD/TDM: #30, LE: #31)  
Fax: 03.3505.3417

**カスタマーサポート**

Tel: 03.3505.4762 (# 22)  
Fax: 03.3505.3417